

霧島

Special Edition
特集◎夢を現実へ、
未来を創る新たな軌跡

霧島新報
DECEMBER.2008 VOL.68

12

Kirishima City Public Relations, Japan
2008.12.9発行 VOL.68

霧島新報



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL <http://www.city.kirishima.jp> ■メール/ info@city.kirishima.jp
編集/広報広聴課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/有明印刷(有明印刷)



11月27日 午前8時58分 牧園町高千穂(丸尾/霧島温泉市場)



drive!

It starts here.



■入校日■

[水曜日]
午前/AM8:30-9:00
午後/PM3:30-4:00

[土曜日]
午前/AM8:30-9:00
午後/PM2:30-3:00

取扱車種

普通免許	中型免許	大型免許
普通二輪免許	大型二輪免許	大型特殊免許
けん引免許		

¥ 各種教習ローン
各種教習ローンもご利用いただけます

送迎スクールバス
無料送迎スクールバス各方面運行中
ご利用の方は当校窓口までご連絡下さい

ACCESS MAP

鹿児島県公安委員会指定[技能試験免除]
お問い合わせ・お申し込みは **空港自動車学校 TEL 0995-42-8583**
HP-URL <http://kuko-ds.jp> E-mail info@kuko-ds.jp
鹿児島県霧島市隼人町内2352-1 FAX/0995-42-8530

広告

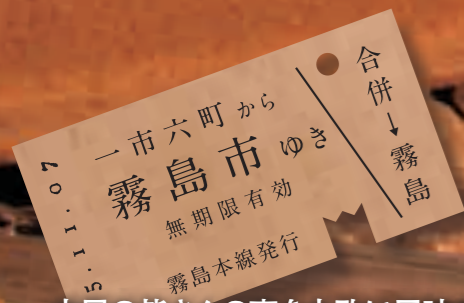


市民と築き、共に歩み続ける **夢を現実へ、**

THE 3rd ANNIVERSARY KIRISHIMA CITY

未来を創る 新たな軌跡

平成17年11月7日。1市6町それぞれ7つの道を歩んできたまちが一つになり、一本の大きな道を歩んでいます。
一歩ずつ着実に前に進みながら、新たな霧島市の歴史を刻みます。



市民の皆さんの声を市政に反映するために各地で開催された「市長と語りもんそ会」
合併効果を最大限に生かすためにとりまとめた「行政改革大綱」
強固な財政基盤をつくりあげるための「経営健全化計画」
美しいふるさとを続けるための「環境基本条例」
霧島市の1年目は、市民の声に耳を傾け、新たな市政の基礎基盤を築く1年でした。
そして、日本一のふるさとづくりを目指したまちづくりへの出発。
これまでの3年間を振り返り、そしてこれからの霧島市の未来を見つめます。



09



霧島市環境基本条例の基本理念に基づき、市、市民および事業者の責務などを規定する「霧島市生活環境美化条例」と「霧島市天降川等河川環境保全条例」を施行。

08



霧島市政の平成20年度から29年度までの向こう10年間の基本的な運営指針となる「第1次霧島市総合計画」の基本構想を策定。平成20年3月に計画書をまとめる。

07



「霧島山」をふるさとの山と捉(とら)え、鹿児島県(霧島市・曾於市・湧水町)、宮崎県(都城市・小林市・えびの市・高原町)の5市2町により、県境を越えた環霧島会議が発足。

06



国分パークプラザに、各種証明書発行や収納事務を時間外でも取り扱う市民サービスセンター「コア・よか」を開設。平成20年4月からはパスポート発給事務も開始。

05



災害時にとるべき行動の確認や防災活動に必要な知識・技術の習得などを目的に、総合防災訓練を霧島地区で実施(参加者約800人)。平成20年5月には隼人地区で実施。

04



「霧島らしさ」を表現し、「親しみやすく」「わかりやすく」「おぼえやすい」をキーワードに、「霧島市民憲章」と5つの「市の宣言」を策定。霧島市誕生1周年記念式典で発表。

03



安心・安全なまちづくりを呼びかけ、61団体の防犯パトロール隊が結成され、市民自ら地域を守る防犯体制が市内ほぼ全域で整備される。その結果、犯罪発生率が顕著に減少。

02



まちづくりの原点は市民参加と協働。市民の皆さんと共に語る「市長と語りもんそ会」を41回開催。「市長とランチで語りもんそ会」など今もなおその機会は引き継がれている。

01



平成17年11月7日、国分市・溝辺町・横川町・牧園町・霧島町・隼人町・福山町の1市6町が合併し、県内2番目の人口と面積を誇る県央の都市、霧島市が誕生。

未来への軌跡

日本一のふるさとづくりへへの歩み

線路は続くよどこまでも、野を越え山越え谷越えて。次のレールを共に創りましょう

12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01
栄誉賞授与	ふれあいバス	移住定住促進	環境美化保全	総合計画策定	環霧島会議	コア・よか	総合防災訓練	市民憲章発表	安心・安全	語りもんそ会	霧島市誕生
H20.9.24	H20.4.1	H20.4.1	H20.4.1	H19.12.26	H19.11.9	H19.7.6	H18.11.9	H18.11.5	H18.10~	H18.2~	H17.11.7

12



霧島市出身、前田美順選手の北京オリンピック・バドミントン競技での大活躍を称(たた)える入賞祝賀会を開催。霧島市として第1号となる「霧島市スポーツ栄誉賞」を授与。

11



溝辺・福山地区において新たにコミュニティバスを運行し、市内全域での運行を開始。これを機会にバスの名称を「ふれあいバス」に統一。運賃も定額150円とした。

10



霧島・元気なふるさと再生事業群の一環として、中山間地域への移住定住を促進するため、転入者に補助金を交付する内容の「霧島市移住定住に関する条例」を施行。

共に策定した総合計画、そしてこれからは市民の皆さんも参画する公正公平な透明性の高い行政評価、共生協働のまちづくりがより必要とされます。一つ一つの取り組みが積み重なり、力強い一本の軌跡を描いていく。人々が生き生きと暮らせる「日本一のふるさとづくり」実現のため、これからも市民の皆さんと共に歩み続けます。

霧島市は中山間地域の移住定住を進めるための「霧島市移住定住に関する促進条例」、「元気なふるさとづくりのための「ふれあいバスの充実」、市民と一体となった「安心安全なまちづくり」など、まちの将来像である「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」を実現するために、着実に進んでいます。「市民が主役」、その市民の皆さんと

未来への軌跡

霧島市が合併して2年目となる平成18年11月に、霧島市誕生1周年記念式典で「霧島市民憲章」と「市の宣言」を発表しました。これらは私たちが未来へと歩み続けていく羅針盤であり、基本的理念としての象徴です。平成20年3月、将来にわたって誇りあるふるさとづくりのため、「第1次霧島市総合計画」が策定されました。この計画は、平成20年度から29年度までの向こう10年間の歩むべき方向を示し、総合的かつ計画的に行政運営を進める指針となるものです。



末重 良規さん (薄辺)

06

農業

私たち農家は、安心で安全な作物の提供を心がけています。全国で輸入作物の安全性が問題になっていますが、「心配だから国内で作ってほしい」と言ってもすぐには作ることができません。それは高齢化や農業離れで耕作放棄地が拡大しているからです。国内の食料自給率を高めるためには、新規就農者の確保や支援、集落営農の推進など、徐々に生産農地を増やす必要があります。そのためにも市には、農家への農地集積のための支援を考えてほしいです。



丸野 涼子さん (牧園)

05

霧島国際音楽祭
牧園友の会副会長

音楽が好きで、12年前に霧島国際音楽祭をサポートする友の会の役員になりました。霧島国際音楽祭は来年で30周年を迎える世界でも有名な音楽祭です。こんな素晴らしい音楽祭と、音響の良さは定評のある「みやまコンセール」が霧島市にあることは、私たちにとって大きな財産です。ぜひ、この財産を多くのかたに感じてもらえるような音楽のまちになってもらいたいです。



黒木 辰二さん (隼人)

04

霧島市環境保全協会会長

霧島市には、山・川・海とすばらしい自然環境がたくさんあります。そんなすばらしい環境を守るために今年の4月1日、「霧島市生活環境美化条例」と「霧島市天降川等河川環境保全条例」が施行されました。しかし、条例ができただけでは、環境を守ることができません。地域で自主的に環境を守っていくことが必要です。霧島市のすばらしい環境を守るために、みんなで協力していきましょう。



坂田 和美さん (隼人)

03

霧島市商工会会員

最近、近くに大型店の出店が相次ぎ小さな商店は困っているのが現状です。商店街では、お客さんに喜んでもらえるように大型店にはできないサービスをしていこうと頑張っているところです。私がお菓子屋なので、どんな味が今の時代にあっているのか、个性的なお菓子をどうすれば作れるのかを考えています。商店街は皆さんの身近で親しみのある商店です。ぜひ、近くの商店街でお買い物をしてください。



中村 正人さん (国分)

02

国分西地区
防犯パトロール隊隊長

合併前、犯罪件数の多い地域だったので、地域の皆さんと話し合って防犯パトロール隊を結成しました。地域の皆さんも積極的に活動に参加してくれ、犯罪件数が激減しました。防犯パトロール隊を結成してからは地域のつながりが強くなり、ほかの活動も活発になるなど、相乗効果を生んでいます。霧島市を安心安全なまちにするには、市全体が一つになって防犯に取り組むことが必要だと思います。



飯田 真由美さん (横川)

01

青年団横川支部団員

合併するまでは、横川地区だけの活動が主でした。しかし、霧島市が誕生して青年団も一つになり、ほかの地域の行事にも参加する機会が増えました。横川は団員が少なく、できることが限られていましたが、今では、ほかの地域から協力をもらうことができるので、活動の幅も広がりました。これからいろいろな活動を展開して、地域を、そして霧島市を若い力で盛り上げていきたいです。



このまち、この人、この暮らし。
わがまちの
応援団
 合併して3年、市民の皆さんは霧島市をどのように思っているのか。地元の声を聞きました。

霧島市制2年目、3年目の軌跡

- 平成18年11月
 - 総合防災訓練の実施(霧島地区、参加者約800人)。
- 平成19年2月
 - 行政改革大綱を基本に「集中改革プラン」を策定併せて、「霧島市組織機構再編計画」、「霧島市定員適正化計画」、「人材育成計画」も策定。
 - 国分西小学校の大規模校解消について、「霧島市立小・中学校規模及び通学区域等適正化審議会」から新設校を設置することで答申があり、国分福島の製陶所跡地を学校用地として取得し、平成20年9月(仮称)第二国分西小学校の校舎新築工事に着工。平成22年4月開校予定。
- 平成19年3月
 - (国)国土緑化推進機構より、霧島市を森林セラピー基地に認定。
- 平成19年4月
 - 本庁の一部と総合支所にグループ制を導入し、15課4係を削減。
 - 職員提案による昭和の日記念事業「もみじオーナー植樹祭」を開催(自然教育の森)
 - 霧島市消防局隼人分遣所新築移転(隼人町西光寺)
- 平成19年5月
 - JR国分駅の周辺整備(西口駅前通線、西口駅前広場、東西自由通路の整備)
- 平成19年6月
 - 「首都圏霧島市ふるさと会設立祝賀会」開催(東京都、参加者約400人)。
- 平成19年6月
 - 「かごまつ弁論大会」開催。第2回目は平成20年9月に開催。
- 平成19年7月
 - 福山、薄辺の水道事業支所を水道部本庁に、霧島横川水道事業支所を水道部牧園支所に統合。
 - 国分パークプラザに、各種証明書発行や収納事務などを取り扱う市民サービスセンター「コア・よか」を開設。平成20年4月からバスポート発給事務を開始、同年10月に利用者1万人を突破。
 - アメリカのソノラ市とアルハンブラ市を訪問。旧霧島町からの交流を引き継ぐため、ソノラ市と姉妹都市盟約を締結。
- 平成19年8月
 - JR霧島温泉駅から霧島いわさきホテルまで運行するバス路線が復活。
- 平成19年10月
 - 中国耀州区政府友好訪日団の市長表敬時に、友好交流協議書締結。
- 平成19年10月
 - 「霧島市あんしん・あんぜん検定」を実施。平成20年度はマスター検定と上位検定のグランドマスター検定を実施。
 - 全国民間空港関係市町村協議会主催の「空港フォーラム」を開催。
 - 中国湖南省瀏陽市を訪問。旧国分市からの交流を引き継ぐため、友好交流協議書を締結。
- 平成19年11月
 - 鹿児島県、宮崎県の5市2町で地域活性化を図っていくことを目的に「環霧島会議」を発足。
 - オーストリアのザルツブルグ市とフランスのウイイ町を訪問。ザルツブルグでは国際音楽祭について研修し、ウイイ町ではエコミュージアム(まちごと博物館)について学んだ。
 - 「霧島市民表彰に関する規則」を制定、1400の個人・団体を表彰。
- 平成19年12月
 - 霧島市政の平成20年度から今後10年間の運営指針となる「第一次霧島市総合計画」の基本構想を市議会に提案し、議決された。
- 平成20年1月
 - 分行により、国分庁舎と隼人庁舎に本庁業務を集約。同年4月、消防局を除く各部にグループ制を導入。
- 平成20年2月
 - 「霧島市生活環境美化条例」および「霧島市天降川等河川環境保全条例」を市議会に提案し、平成20年4月1日から施行。
- 平成20年2月
 - 霧島市歌、愛唱歌2曲、音頭の計4曲を霧島市の歌として制定。
- 平成20年3月
 - 中山間地域への移住定住を促進するための補助制度を定めた「霧島市移住定住促進に関する条例」を議会に提案し、同年4月1日から施行。
 - 「霧島市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例」が協議され、同年7月1日から施行。
- 平成20年4月
 - 姉妹都市盟約を締結している岐阜県海津市と職員の間で交流を実施。
 - 旧1市6町の衛生自治団体などが4月1日から「霧島市環境保全協会」として出発。
 - 「霧島市国際交流協会」設立。
- 平成20年4月
 - 広報紙「広報きりしま」が平成20年全国広報コンクール「組写真の部」総務大臣賞受賞。

合併前は無理だろうと思っていたことが、霧島市にある多くの資源や「霧島」というネームバリューを生かし、いろいろな可能性が見えてきたものもあります。行政職員の事務は増えているかもしれませんが、行政改革などにより無駄なことは大きく改善されています。円高や燃料、穀物、飼料などの高騰により市場経済は厳しい状況にあるため、税収を増やすことは困難であ

合併したからこそ今までの暮らしと変わらない部分もあるのではないのでしょうか。
合併前の3年間より、合併してからの3年間の方が人口の減少率は下がっています。高度経済成長期、バブル期の際でも、人びとは昔の方が良かったと感じていました。現在の評価も10年後、20年後現れるものであり、その時もまた昔は良かったと思うのではないのでしょうか。

原口泉氏
Hanguchi Izumi

合併したからこそできることがある

篤姫が望んだ穏やかな暮らし。それを実現するために将来を見据えた行政運営が必要。霧島という地域力を生かし、誰もが穏やかに暮らせるまちになってほしい

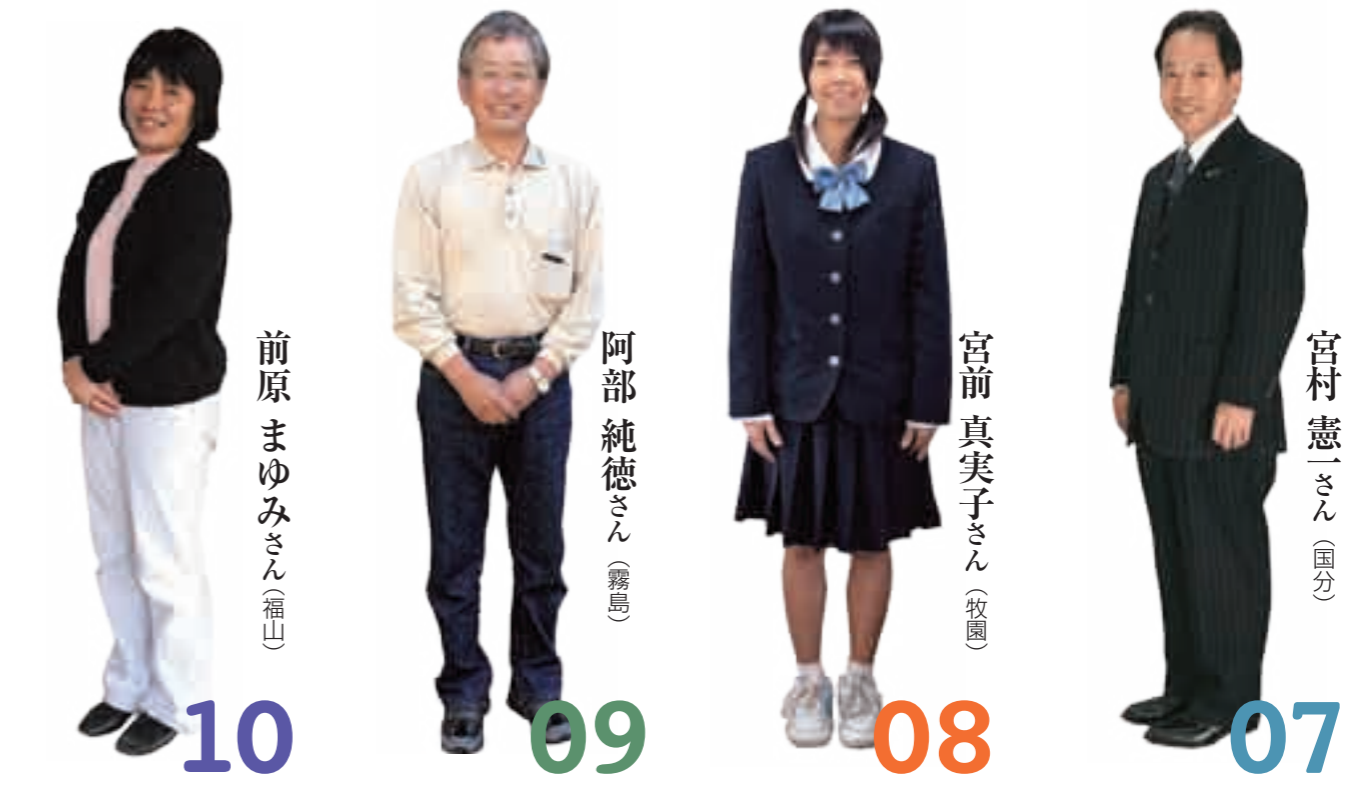


Profile

はらぐちいずみ 鹿児島大学生涯学習教育研究センター長。法文学部教授。米国ネブラスカ州立大付属ハイスクールと鹿児島県立甲南高校卒業。東京大学文学部国史学科、同大学院修士課程修了。1979年鹿児島大学法文学部にて赴任。助手、講師、助教授を経て1998年から教授。NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」や「琉球の風」、「篤姫」の時代考証を担当。鹿児島大学では日本社会史・焼酎学などの講義や演習を担当。大学院の博士課程地域政策科学専攻で南九州地域史を社会人に対して開講している。琉球大学非常勤講師も歴任。現在、霧島市行政改革推進委員会委員長を務める。

天璋院篤姫が心から願っていたのは地位とか名誉、財産ではなく、穏やかな暮らしを願っていたのであって、家族が仲睦まじく暮らすことこそが本当の願いであったと思います。霧島市も誰もが穏やかな暮らしができるように、安心安全や子育てなど、基本的な環境を整え、さまざまな産業でこの霧島という地域力を生かし、鹿児島ナンバーワン、全国ナンバーワンのまちになることを願っています。

り、いかに現状の中で暮らしやすいサービスとは何かを行政が追求する必要があると思います。行政改革推進委員会では、これまでに検証し、10年先の20年先の将来を見据えて議論を続けています。
また私は、地域が元気にならないと今の日本は良くならないと思います。例えば、限界集落といわれている地域で若い芸術家が活動して育ってほしいと思っています。



宮村憲一さん(国分)

宮前真実子さん(牧園)

阿部純徳さん(霧島)

前原まゆみさん(福山)

進出企業
トヨタ車体研究所社長

霧島高校生徒会長

霧島市観光協会会長

在宅看護師・
母子保健推進員

企業が進出するためには、企業を支えてくれる従業員が生活しやすい住環境であることが大切です。霧島市のように自然、温泉、病院、商店などが充実していることはとても魅力的。また鹿児島は、優秀な人材も多く求人がしやすいところ。今後、霧島市に望むことは道路などのインフラ整備、企業誘致、人材育成への取り組み、そしてアジアとの窓口となれるように国際化を図ってほしいと思います。

第1期生として、私たちがこの高校の歴史を作っていくことに責任の大きさを感じています。霧島高校は、明るくて楽しい学校で、勉強や部活も頑張っています。これまでにみんなと協力して体育祭や文化祭を成功させることができました。これからはみんな、真っ白なキャンパスのようなこの高校にいろいろな絵を描き盛り上げていきたいです。そして来年度もたくさんの生徒が入学してくれるように頑張っていきます。

自然は霧島市にとって大きな財産ですが、自然があるだけではお客さんは来ません。足を止めて人が歩く観光地づくりが大切です。そのためにも、国分観光協会と国立公園霧島観光協会、(社)大霧島観光協会、隼人町観光協会を一つにし、市内各地域の持つ良さを生かし、全国から注目を集める観光地づくりに取り組んでいきたいと思っています。市民の皆さんが、温かい気持ちで観光客を出迎えてくださればありがたいです。

合併して良かったこともありますが、問題点もあります。福山地区は独居老人の数が多く、何かあったときの対応が心配です。また、同年代の子どもが少なく、子育てで悩んでいるかたが保護者同士で相談する機会が少ないため、悩みを抱えたままのかたもいます。これらの問題解決には地域で福祉を考え、取り組むことが大切です。行政・地域みんなが協力して福祉のまちになってほしいですね。

- ・ 溝辺、福山地区に新たにコミュニティバスを運行、名称を「ふれあいバス」に統一。
- ・ 霧島山の世界ジオパーク認定に向けた研究などのため、鹿児島大学理学部 井村准教授を「霧島市ジオパークアドバイザー」として委嘱。
- ・ 一般廃棄物管理型最終処分場の建設について、4月15日に福山町宝瀬地区を候補地として選定。
- 平成20年5月
・ 総合防災訓練を実施(隼人地区、約600人)。
- ・ 霧島市名誉市民・元国分市長 谷口義一氏の市葬。
- 平成20年7月
・ 「霧島市民音楽の集い」の開催(みやまコンセル)。
- ・ 道案内や観光地・観光施設などの紹介を目的に、市内100か所の店舗などを「よかしく案内所」に認定。
- ・ 森林セラピー事業として「森で過ごす癒しの休日in霧島」と称したオープニングイベントを開催。森林ウォーキングと温泉、国際音楽祭を組み合わせた。
- ・ 「霧島市市民活動支援事業」11団体11事業を決定。
- 平成20年8月
・ (株)マキオ(AZスーパーセンター隼人店)と本市で初めてとなる「地域貢献活動協定」を締結。併せて、災害時の緊急車両などに対し、優先的に燃料を供給するための協定も締結。
- ・ 本市の中高校生が交流しているマレーシアアマラッカ市のセント・フランシス学院、マラッカ市長などの表敬訪問
- 平成20年9月
・ 前田美順選手に第1号の「霧島市スポーツ栄誉賞」授与(北京オリンピックバドミントン女子ダブルス4位)
- 平成20年10月
・ 安全で安心して暮らせるまちづくりの意識向上を図るため「あしんあんぜん霧島づくり2008」を開催。
- ・ 友好交流を続けている中国瀏陽市からの花火寄贈を受けて、霧島市花火大会開催。
- ・ 国道10号の補完道路である市道小田小浜線が開通。
- ・ 温泉所在都市協議会主催の「温泉フォーラムin霧島市」開催。
- 平成20年11月
・ 3周年記念式典開催

初代市長として霧島市の舵取りをしてきた前田市長。以前は読売新聞の記者として、今は市民の一人として霧島市を見つめる松元賢次さんとの対談を企画し、この3年間を振り返ることも、これからの市政経営に対する市長の思いを聞きました。

松元 合併して3年がたちました。マニフェストの表題「ふるさと維新」の「維新」という言葉に、新しいふるさとづくりに取り組む市長の決意の強さを感じます。振り返ってどのような3年でしたか。

市長 1市6町が霧島市として歩き出し、私は初代市長として「市民が主役。総親和・総努力で、一緒にきばいもんと」と呼びかけてきました。「開かれた、活力ある、公正公平な市政」を基本に力いっぱい皆さんと一緒にがんばることができたと思います。防災防犯などの面で安心安全なまちづくりに全力をあげ、「市民参画」に心がけてきました。皆さんの声に耳を傾け、この3年間で新しいふるさとを形づくりができたと思います。

松元 新市の運営で行財政改革は大きな課題でした。職員の定員適正化計画は順調に進んでいますか。

市長 「行政改革大綱」に沿って着実に進んでいます。その中でも職員数については適正化計画に沿って、合併当初1431人だった職員数を1077人に削減しました。市の行財政を中長期的に考えるとやむをえないことですが、皆さんにご理解いただいたおかげです。また、人件費の削減のほかにも徹底した歳出の見直しや歳入確保への努力をしています。その結果、累積した削減効果は約14億円になります。

松元 痛みを伴うことですが、職員や議会、市民の理解、協力があつたからこそですね。

ところで、市長が力を入れていた「生

活環境美化条例」「天降川等河川環境保全条例」が4月からスタートしましたね。

市長 私たちには山、川、海の恵みがありますが、合併により広く、より多くののかたと取り組むことができました。今を生きる私たちが次世代に誇りあるふるさとを引き継ぐことは重大な責務であり、そのことを呼びかけていく機会をつくれたことは大きな喜びです。

松元 この条例の制定で環境保全に対する市民の連帯意識が高まっていくのではないですか。

市長 そうですね。条例や計画はつくただけではいけません。私たちの役割・責任としてごみのポイ捨てや不法投棄は許さないとといった意識を啓発する活動を粘り強くやっていくことが大切だと思います。

松元 霧島市の元気の源になるのは企業誘致ではないかと思えます。市はいろいろな優遇制度を設けて誘致に力を入れています。成果はどうでしょう。

市長 これまで18社の企業と立地協定を結ぶことができ、まもなく19社目も予定しています。これで雇用も600人を超すことになろうかと思えます。これほど誘致できた理由には地理的条件のよさ、空港や高速道路などの交通体系、優秀な人材も確保しやすく、自然と利便性が融合する地方都市というイメージがあるようです。

松元 この環境のよさがセールスポイントになっているのですね。

市長 そうですね。企業にとっても厳しい時代だとは思いますが、まかない種は芽がでませんから、私も営業本部長として自ら出向き、今後も積極的に誘致活動をしていきます。

松元 福山町宝瀬地区に建設を予定している一般廃棄物管理型処分場はどうなっていますか。

市長 これまで一般廃棄物管理型処分場の必要性を主張してきました。場所

そうですね、まかない種は芽がでませんから…



前田終止 対談 松元賢次

については、市全体を見ながら環境対策審議会の意見も踏まえて、福山町宝瀬地区を候補地として選考し公表しました。地元の方皆さんとも語り合い、近隣市町にも理解を求めてきました。今後も市民の皆さんにご理解、ご協力を求めていきたいと思っています。

松元 霧島市は他市町に比べて妊婦の無料健診の実施や不妊治療への助成、3歳未満の医療費の無料化、児童クラブの整備、ブロードバンドの整備など独自の施策も展開している。満遍なくというか、きめ細かいですね。

市長 子育て支援として、現在の3歳未満の医療費の無料化を今後、拡充していくことも必要ではないかと考えています。全国的に少子高齢化が進む中、一人でも人口を増やすことが私の夢ですね。子育て支援はもちろん、コミュニティバスの充実、ブロードバンドの整備、限界集落への対策も進めています。

松元 きりしま国分山形屋前の通りが電線の地中化ですっきりしましたね。とても景観がよくなりました。歩道橋もできて利便性が高くなりましたね。

市長 中山間地区の活性化と共に中心市街地の活性化も必要です。電線の地中埋設化や歩道橋「コア・よかどう」の設置もその一つですが、まちを歩きたくなるような通りづくりをこれから

も計画的に進めます。おかげさまで市民サービスセンター「コア・よか」は利用者1万人を突破しました。国分市時代から念願だった中心市街地の活性化策が形にできたと思います。

松元 山間部の人口減の対策として移住を促進しているとのことですが…。

市長 「ふるさと元気再生事業」の一つとして制定した移住定住補助金。最高で200万円の補助などをしていきます。すでに300件以上の問い合わせが殺到しており、最終的には補正予算を組まなければならぬ状況です。

松元 「第一次霧島市総合計画」がスタートした今年度を市長は「新ふるさと草創元年」と位置づけていますが、大まかな骨子を聞かせてください。

市長 「第一次霧島市総合計画」では

向こう10年間の市政運営の方針を示したこととなります。7つの政策（基本方針）を達成するために28の施策が盛り込まれています。今年度はこのうち優先的に進めることが必要な8つを重点施策として予算を編成しました。今後効果のいい市政経営に取り組みたいと思います。

松元 「環霧島会議」を母体に「霧島ジオパーク推進連絡協議会」が立ち上がりましたね。世界ジオパークに認定されるとどのような効果が期待できますか。

市長 「環霧島会議」という県域を越えた自治体組織だからこそできる活動の一つです。2010年の認定を目指していますが、認定されることにより、自然の環境保全はもちろん、観光、教



松元 賢次 まつもとけんじ

1941年生まれ。67歳。63年、専修大学法学部卒業。元読売新聞西部本社記者。鹿児島支局、出水、宇部、別府通信部、佐世保支局を経て、89年霧島通信部に。2006年3月に退職。記者生活45年を一貫して取材現場に立ち、8.6水害をはじめ地域の事件、災害、行政、議会、選挙などの報道取材に携わる。絵手紙「あすなろ会」会長。国分湊在住。



おじゃんせ霧島大使

No.0001

シンガーソングライター
辛島美登里さん

歌 手の辛島美登里さんが、霧島市をPRする「おじゃんせ霧島大使」第1号となりました。「おじゃんせ霧島大使」は、①市政に対する提言や意見を伝える②観光や特産品などを市外へ紹介、宣伝する③市のイメージアップにつながる活動をする④霧島市への企業誘致や定住促進につながる活動をするなどの役割があります。

辛島さんは、シンガーソングライター、作曲家として活躍されています。代表曲の「サイレント・イブ」は、クリスマスの定番として有名です。辛島さんは鹿児島市出身ですが、県立霧島高校の開設に当たっては同校の校歌を歌詞作曲しています。また11月9日の霧島市市制3周年記念式典では、ミニコンサートで素敵な歌を聴かせてくれました。これらのことがご縁で今回、おじゃんせ霧島大使の委嘱が決まったのです。任命式があった記念式典の中では、市長から「給料は出ませんが、霧島を愛し、存分に働いてください」とユーモアを交えた激励と第1号の任命書が手渡されました。これに対し、辛島さんは「霧島のよさを全国のかたにPRします」と笑顔で約束されました。

今後「おじゃんせ霧島大使」は、市外に住んでいるかたに随時委嘱し、霧島のPRに努めていただきます。

からしみどり

1961年、鹿児島市に生まれる。鹿児島県立鶴丸高等学校、国立奈良女子大学卒業。1981年、アーティストデビューし、テレビドラマの主題歌となった楽曲は数知れず、代表曲「サイレント・イブ」もその一つである。1995年、第37回レコード大賞作詞賞を受賞するとともに多くのシンガーに楽曲を提供している。2008年、同年4月開校の霧島高校に校歌として、「霧島の空Walking to the Future」をプレゼントし、開校記念式典で校歌を披露する。



記念式典／①市民憲章を朗読する高校生 ②霧島市歌を歌う子どもたち ③市民表彰式 霧島ふるさと祭／④出店前で奄美の島唄を披露 ⑤すずかけ馬踊りを披露 ⑥みかんの販売

CIVIC NEWS

霧島市市制3周年を記念した記念式典が、11月9日に市民会館でありました。式典では、75人の個人と27の団体に對しての市民表彰、霧島市歌の披露、市民憲章の朗読、「おじゃんせ霧島大使」第1号となった辛島美登里さんのミニコンサートや三浦雄一郎さんの講演などがありました。

また、お祭り広場では11月8日9日に霧島ふるさと祭があり、産業製品や特産品などの展示や販売など、大勢の人でにぎわいました。

表彰者（敬称略）

◎功績
教育文化スポーツ部門Ⅱほるとの森、りんごの木おはなし会、おはなし母さん、くればす、こぐまの会、紙ふうせん、築瀬良弘、東村学
保健福祉部門Ⅱ点訳ボランティア「なんてん」
社会活動部門Ⅱふっぎやまほっけもん会

◎永年勤続
教育文化スポーツ部門Ⅱ松下兼介、八木幸夫、有村健二、

（鹿児島第一高校）、鹿児島第一高校空手道部、南園沙弥（国分中央高校）、国分中央高校ダンス部、深利逸馬・長迫正樹・三好直人（隼人工業高校）、中迫未来（加治木高校）、濱田尚里（鹿児島南高校）、深利恭兵（鹿児島商業高校）、馬見塚悠（神村学園高校）、島岡健太（鹿児島工業高等学校）、鹿兒島工業高等学校（鹿児島工業高等学校）、鹿児島工業高等学校サッカー部、キラ

榎田龍哉、徳重栄一郎、原口兼明、山形正道
産業経済部門Ⅱ村岡國昭、今川芳信、東福健治、徳田佳雄
社会活動部門Ⅱ中尾喜市、飯屋憲夫、池田次男、大庭薫、岩元晃一、柳貞光、丸野巽、中條ヨシ子、富永義克、坂元正俊、山口耕馬、黒葛原富夫、星原俱備、帖佐敏雄、久保昭男、馬場勇、竹下洋文、猶崎謙治、鏡園隆、徳留聖一、田代重徳、福元達夫
保健福祉部門Ⅱ李田幸子、石原清徳、野間克弘、落合松夫、池田豊實、白石織子、東真澄、修行利徳、前田政耕

◎成績優秀
高橋李生（国分北小）、国分小、川田康輔（高千穂小）、日高大貴・米満光（国分中）、国分中男子ハンドボール部、堅山将（舞鶴中）、柿木田江梨（舞鶴中）、舞鶴中男子柔道部、舞鶴中女子ハンドボール部、舞鶴中陸上部、吉松奈緒（牧園中）、内村沙奈江（日当山中）、山下真名美（日当山中）、友生有紀（牧之原中）、内村和寛（国分高校）、笠野祐樹

グ・シユケナ（第一工業大学）、第一工業大学陸上部、大久保みどり（志学館大学）、中西彩乃（志学館大学）、滝本祐介（志学館大学）、鈴木諒（志学館大学）、平豊（志学館大学）、萱原達磨（志学館大学）、東郷紘大（志学館大学）、竹田浩・山口紗季（志学館大学）、志学館大学女子卓球部、志学館大学陸上部、志学館大学ラグビー部、志学館大学男子バ

日本の原点・霧島市を、日本一のふるさとに。 霧島市市制3周年記念式典

11月8日、9日に霧島市市制3周年を記念し、国分シビックセンター周辺を会場に3周年を祝うイベントがありました。記念式典では、永年、各分野で霧島市発展のために尽力されたかたと、各種スポーツ大会などで優秀な成績を収めたかたなどを表彰する、霧島市民表彰がありました。

レールボール部、山元梨香（鹿児島大学）、鹿児島第一医療リハビリ専門学校サッカー部、村岸孝洋、児玉安昭、本高和弘、川上裕介、混声合唱団グリーンエコー

◎特別表彰
隼人工業高校美術部、岩元綾、福本平

◎感謝状
㈱信栄製作所代表取締役立野美美子、(社)霧島ゴルフクラブ



犬飼温泉
何度も通っていたのに「えっ、こんなところに温泉があったとは」という感じ。犬飼温泉管理組合が管理している共同浴場。泉質は単純泉。営業時間は午後3時～8時。



祝橋温泉旅館 (☎ 76-1801)
露天風呂付きの大浴場、家族湯やひのきのお風呂があり、宿泊のほか食事や陶芸を楽しむこともできます。営業時間は午前6時～午後10時。



平川温泉 (☎ 76-0096)
本職は豆腐屋さん。豆腐作りが終わった昼の時間に何かできないかと温泉を掘ったのがきっかけ。泉質は単純泉。営業時間は午前10時～午後9時。



福寿温泉 (☎ 76-2229)
お風呂上がりには、隣にある休憩所でゆっくりくつろぐことができます。季節の野菜や鉱泉水なども販売しています。営業時間は午前8時～午後9時。



横瀬温泉

牧園町上中津川の横瀬地区にある横瀬温泉は、江戸時代末期の慶応元（1865）年に発見されたといわれ、古くから地域住民の憩いの場となっています。このほか牧園総合支所周辺には福寿温泉、祝橋温泉旅館、平川温泉、犬飼温泉があります。

横瀬温泉は、少し穴を掘るとじわじわと湧き出してくる湯をポンプで浴槽に送っています。建物の周りにもぶくぶくと湯が湧き出しているところがあります。水温は42度くらいで泉質は単純泉。この共同浴場は横瀬地区の住民が管理し、毎日交代で浴槽の掃除などを行っています。

た柿を食べていました」と地元ならではの話をしてくれました。入浴客は近くに住民たちがほとんどですが、地区外のかたの入浴もできます。

食の良さを

霧島の風味を楽しみませんか。

日ごとに寒さが増すこの季節。寒さで筋肉が収縮し悪くなりがちな血行を良くし、体をほかほか温めてくれる「ショウガ」。国分清水に住む宇都正弘さんは妻の君子さんと一緒にショウガを生産し、国分物産館じょうもん市場へ出荷しています。今年4月に植え付けしたものを、9月中旬から11月いっぱいまで収穫します。

ショウガ以外にもニラや小松菜といった野菜づくりに励む宇都さんは、自ら作った有機肥料を使うことにこだわっています。EM土着菌（EM菌と土に生息する微生物を混ぜたもの）を米ぬかや油かすなどと一緒に発酵させた肥料で、化学肥料を使った野菜より傷みにくいといいます。今年7月には県から「農業なんでも相談員」の委嘱を受け、EM土着菌を使った農業についてアドバイスをしています。

今年71歳の宇都さんは「元気の源は土に触れること。安心できるものを提供し、皆さんに喜んでもらいたい」と話してくれました。

今年の冬はショウガで元気に乗り切りましょう。



体を芯から温めてくれる
夜食におすすめの「おにぎり」



ショウガ
辛味の成分であるジンゲロンやショウガオールは血行を良くし体を温め、風邪の初期症状や冷え性の改善に効果的。二日酔い防止や殺菌効果もあります。

レシピ
ショウガのおにぎり
【材料(米3合の場合)】ショウガ40g、しょうゆ(うす口)大さじ2、酒大さじ6、塩小さじ2、だし昆布(15cm四方)1枚
【作り方】みじん切りにしたショウガを米、調味料、だし昆布と一緒に炊飯器で炊く。炊き上がったらし昆布は取り除く。

※ショウガを繊維に沿ってスライスし2～3回ゆでたものを三杯酢につけて酢の物などに入れたり、砂糖水(水1カップに対して砂糖200g)で飴状になるまで煮詰めて、お湯や紅茶に入れたり利用できます。



◎国分清水在住
宇都正弘さん・君子さんご夫妻

人の風景

THE SCENE
霧島に生きる

DAIICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY



第一工業大学陸上競技部

部員数21人(うち15人が県内出身者)。個人の自覚に任せた練習で、今年はお雲全日本大学選抜駅伝で3位、全日本大学駅伝対抗選手権で7位、びわ湖大学駅伝では優勝するなど全国の舞台で活躍。

今年、第一工業大学が大学駅伝界に新たな歴史を刻みました。

第20回出雲全日本大学選抜駅伝で3位に入り、関東勢以外では初めて表彰台に上がりました。第40回全日本大学駅伝対抗選手権では過去最高の7位に入るなど、大学駅伝最高峰のレースで見事な走りを見せました。また、関西と西日本地区の大学が出場するびわ湖大学駅伝では、2度目の優勝を飾るな

ど、その名を全国に轟かせました。

全国の舞台ですばらしい走りを見せた選手たち。中でも、キャプテンの中野良平さんは、出雲駅伝で各大学のエースが揃う3区で区間賞、全日本大学駅伝では1区に出走し3位に入るなど、その活躍は注目を浴びました。中野さんは「出雲大学駅伝が一番印象に残っています。体調がよくて、コースのリズムも自分にあっていたのでいけ

る気がしていました。区間賞をとれたことは、これからの自信につながります。目標はマラソンで日本トップの選手になること。夢を叶えられるように頑張ります」と力強く話してくれました。

今回の結果について「選手の自覚が大きい」と話すのは、副キャプテンで同大学3年の厚地翔太さん。同部では、選手が練習メニューを決めており、今

大学駅伝界に新たな歴史 全国で見せた 選手たちの意地

の結果は、自覚と日ごろの頑張りの成果です」と喜んでいました。

厚地さんは牧園町出身。そのため地元への思いは人一倍強いようです。「自分たちが全国の舞台で活躍することで、大学はもちろん、霧島市のPRにもなると 생각합니다。来年もチーム一丸となって、地方大学でもやればできるといふところを見せたい。目標は優勝して地元霧島市に凱旋することです」と来年への意欲を燃やしていました。

関東勢の活躍が目立つ大学駅伝。しかし今年、全国を沸かせた第一工業大学の熱い走りは、市民の皆さんだけでなく、関東以外の大学にも夢と希望を与えてくれました。「やればできる」その思いがあるかぎり、第一工業大学陸上競技部の活躍は続きます。



▲岩元監督の指導を受ける選手たち
◀出雲駅伝などに出走したメンバー(左から5番目が中野キャプテン、6番目が厚地副キャプテン)



税源移譲であなたの住民税、所得税が変わっています

この制度は全国一斉に改正されたもので、平成19年1月から、地方にできることは地方に、またより身近な行政サービスが効率よく行えるよう国（所得税）から地方（市県民税）への税源の移譲が行われました。

また、平成19年中の所得が減って所得税が課されず一定の条件を満たすかたに対して

は、平成19年度分の市県民税の減額措置により還付などを実施しました。

Q 住民税、所得税の税率はどのように変わったのですか。

A 住民税の総合課税の所得割の税率が【表1】のとおり、一律10割（市県民税6割・県民税4割）に改正されました。

また、所得税は【表1】のとおり所得税と住民税を合わせた税負担が変わらないように4段階から6段階になって

います。

Q 負担はどのようになるの。

A 所得税が減り、その分住民税が増えることになるので、所得税と住民税を合わせた負担は、基本的には変わりません。

ただし、平成19年度から定率減税が【表2】のとおり廃止されたため、その分負担増となります。

◎問い合わせ先 税務課市民税グループ ☎(64)0902、各総合支所地域振興課

【表1】住民税・所得税の税率の流れ

課税所得金額	改正前		改正後	
	市県民税	県民税	市県民税	県民税
200万円以下	3%	0円	2%	0円
700万円以下	8%	100,000円	3%	70,000円
700万円超	10%	240,000円	3%	70,000円

↓

課税所得金額	市県民税	県民税	合計
一律	6%	4%	10%

【表2】住民税の定率減税の流れ

年度	改正前		改正後
	平成17年度	平成18年度	平成19年度
定率減税	15%	7.5%	廃止
住民税	限度額40,000円	限度額20,000円	

平成21年度償却資産の申告について

事業を行っているかたは、毎年1月1日現在の償却資産の状況を、その資産が所在する市町村へ申告しなければなりません。（提出期限は2月2日の予定）

今年、耐用年数省令が「機械及び装置」の資産区分を中心に大幅に改正（390→55区分）され、平成21年度の申告から適用されます。

今年、耐用年数省令が「機械及び装置」の資産区分を中心に大幅に改正（390→55区分）され、平成21年度の申告から適用されます。

ている事業者のかたへは、前年度の資産状況を記載した平成21年度の申告書を送付しますので、内容を確認の上、申告をしてください。その際、過去に購入した機械および装置であっても、すべて改正後の耐用年数で申告する必要がありますので、ご注意ください。

相続人代表者の指定

固定資産の所有者が亡くなった場合は、「相続人代表者指定申告書」の提出をお願いします。

これは遺産相続が行われるまでの間、納税の管理をされたかたを指定していただく届け出になります。まだ届け出さ

軽自動車の抹消・変更の手続きはお早めに

地域振興課 軽自動車などを人に譲ったり、廃車したりする場合は、必ず抹消または変更の手続きを済ませてください。手続きを忘れると、引き続き課税されることとなります。詳細については問い合わせください。

◎問い合わせ先 税務課諸税グループ ☎(64)0902、各総合支所地域振興課

健康きりしま21計画(案)へのご意見を募集します

市では健康増進に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画となる霧島市健康増進計画「健康きりしま21」を策定中です。

この計画書を市民の意見を反映した計画書とするため、パブリックコメント（案に対する意見などの募集）を実施し、計画策定の参考とさせていただきます。なお、意見に

対する個別の回答はしません。

●公表（受付）期間
12月15日(月)～1月16日(金) 必着

●公表方法
市ホームページ、情報公開室（4階）、健康増進課、隼人庁舎隼人市民課、各総合支所市民福祉課、牧之原支所、コア・よか

●提出方法
郵送、ファックス、メール、または閲覧場所にある用紙に記入し、ご意見投書箱に提出してください。

親子で「手打ちそば作り」

子どもを取り巻く食環境は大きく変容し、心身の健康問題が指摘されています。そこで、「食」を通して親子でさまざまな体験をすることにより、家庭において健全な食生活を実践できることを目的として、「第2回親子料理教室」を開

催します。今回は手打ちそばを親子で作ります。

●対象 5～6歳児（年長児）とその保護者（預かり保育あり）

●参加費 無料

●持参するもの エプロン、三角巾、上履き

●申込方法 12月17日（水）午前9時から電話で申し込みください。（午前9時以前は受け付けません）（先着順）

◎問い合わせ先 健康増進課 ☎(64)0905

	国分	牧園
日時	12月24日(水)	12月25日(木)
	午前9時30分～午後1時 (受付時間=午前9時15分～9時30分)	
場所	国分シビックセンター内 公民館2階 調理実習室	牧園保健センター内 調理実習室

12月も絵画展

10月21日から30日まで市役所市民ギャラリーで「こども絵画展」が開催されました。絵画展は「わたしたちの霧島市」というテーマで、市内の保育園・幼稚園児、小中学生を対象に実施されたもので、応募があった554点の中から選ばれた85点の入選作品が展示されました。期間中は多くのかたが会場を訪れました。特別入賞者は次のとおりです。（敬称略）

- 霧島市長賞
山下 一樹
（霧島小学校3年）
- 霧島市議会議長賞
吉満 光伸
（安良小学校1年）
- 霧島市教育委員会教育長賞
厚地 ゆいり
（舞鶴中学校2年）
- 霧島市文化協会賞
上之浦 海聖
（福山小学校5年）
- 霧島市美術協会賞
なるたに あゆみ
（宮内保育園）
- 奨励賞（13人）
うすぎきあやか、まつもと せいと、ゆもとけんしん、かがたほのか、平井友紀乃、池田公太郎、宇都さやか、床波友広、宮田真広、立和田あかり、原口朋子、岡元琴美、梅北岳人
- 金賞（12人）
やまうちゆうえい、なかもむらこより、こんどうたすく、あおきみそら、西陸斗、佐藤颯大、岩崎玲奈、林杏香、原田緑、松元翔太郎、林奈留美、竹元萌夏



◎霧島市長賞
●題名 〓 「みんなすきな おおとりい」
●作者 〓 山下一樹（霧島小学校3年）



◎霧島市議会議長賞
●題名 〓 「やすらやまのてっぺんにのぼったよ」
●作者 〓 吉満光伸（安良小学校1年）

溝辺小学校
食育活動

地域と一体となった食育活動

地元の食文化を知る



お茶について勉強している3年生

溝辺小学校は、今年で創立132周年を迎える歴史ある学校です。現在194人（男子105人、女子89人）の児童が学んでいます。

同校では子どもたちが目に見える形で目標を持って活動できるようにいろいろな取り組みをしています。その中の一つが「わかたか算数」。毎月1回、算数のテストを行い、合格したら次の段階に進める学年の枠を取り除いた進級制の特別授業を導入しています。また、一輪車や鉄棒などの運動競技にも段階に合わせた階級を設けています。

地元で学ぶ食育

溝辺小学校では、地域のかたの協力をもらって食育活動に力を入れています。

その中の一つとして、地元の農業生産者や高齢者などと給食を食べながら、地元につながる食文化などを学んでいます。また、学校給食は地産地消の取り組みが評価され、平成13年には文部科学大臣賞を受賞するなど、学校、給食センター、地域が一体となって

食育に取り組んでいます。

11月25日には、3年生が溝辺町茶業青壮年部の皆さんから、お茶の歴史やおいしいお茶の入れ方などについて学びました。同校の長瀬照道校長は「地元にある食文化を地元のかたから学ぶことで、食文化を身近に感じ、改めて食を見直す良い機会になるのでは」と期待していました。

溝辺小学校は、これからも地域のかたと一緒に子どもたちの成長を見守ります。

V O I C E



◎溝辺町茶業青壮年部
今吉耕己さん

溝辺町茶業青壮年部は、溝辺地区の特産品でもあるお茶の良さを知ってもらうために、毎年、溝辺地区の各小学校で子どもたちにおいしいお茶の入れかたなどを教えています。溝辺小学校みために、地域のかかわりを大切にすることは、とても大事だと思います。地域には伝統や文化、食など守っていかなければならないものがあります。そのことを学校と地域と一緒に子どもたちに教えていかなければいけないと思います。これからも、地域全体で子どもたちの成長を見守ってまいります。

発達障害

M E D I C A L L E C T U R E

やさしい医療講座

志學館大学人間関係学部心理臨床学科
准教授／山喜高秀



発達障害への支援

今回は、発達障害のある人々（児童・大人）への支援について解説します。

△支援の前に▽

まずは、支援の前に心に留めておきたいポイントをいくつか挙げます。

①…その1つは、前回説明した3つの発達障害（広汎性発達障害・学習障害・注意欠陥多動性障害）を持つ人々は、きれいに線を引いて分類できるものではないということです。3つの障害のうち1つだけはもちろん、2つ、あるいは3つすべてが重複している人もいます。また、健常といわれる児童や大人たちの中にも、こういった特徴を少なからず持っている人もいるのではないのでしょうか。実は、こういった特徴は、みんなが大なり小なり持っている可能性があります。性があり、「障害」というのは、その度合いが、日常生活を困難にするほど大きい場合の状態のこととしてとらえることもできるといえることです。

②…①のように考えていくと、「発達障害」は、健常か障害かと分けるために用いられるのではなく、その人（児童・大人）が生きやすくなるための特別な支援を必要としているのかどうかを見極めるために用いられることが大切になってくるということです。学校

教育現場では、こういった流れがすでに始まっており「特殊教育」からその子、その子にあった「特別支援教育」という言葉が定着しつつあります。

③…3つ目は、「支援」ということについてです。支援あるいは援助ということは、まず助けを求める人が主体であり、中心になるということです。つまり、相手がどのような状態にあり、何を求めているのか分からなければ、いくら良かれと思ったことでも、余計なことや逆に苦しめることにもなりかねません。もしかしたら、本人は苦手なところを指摘されたり、指導されることよりも、まず自分は何ができるのかを確かめたいと思っているのかもしれない。

以上のことを踏まえて、「発達障害」を抱えている人と家族への支援のためのかかわりについて考えてみます。

△支援のためのかかわりとは▽

相手の思いや意図がなかなか理解できず、人と共に何かをやろうとすると不器用さだけが目立ってしまうことで、いじめにあたり、絶えず叱られ続ける子どもたちがいます。この発達障害の子どもたちに「心配なことは？嫌なことは？」と尋ねると「別に、ないよ！」という返えが返ってきます。「そう言われてもどうしようもない！」というあきらめに近い思いが伝わってきます。

この子たちが、少しでも主体的に楽しみながら生きていけるためにはどう寄り添ってあげればいいのかについて悩むことが支援の始まりになります。

次は、健常児との違いを見極めるための確かめではなく、この子が今持っている使っている力をその子と一緒に見つけるための工夫をすることです。子どもが「育ちたい、生きたい」と思える基本は、障害がある子もいない子も「自分はこのことができるからとりあえず大丈夫だ」と思える、その子なりの、その子しか持てない自分に対する肯定感を味わうことだと思います。

とはいえ、現実はその子が身近であればあるほど、目に見える成長を確かめると理屈抜きにうれしく思い「もっと早く、もっと…」という期待が先に立ちます。それも当然なことです。問題は、その期待と「その子の身の丈に合った育ち」との兼ね合いなのかもしれません。実は、この兼ね合いや折り合いがとて大変なのです。そのご苦労をされているのが、誰でもなく本人とご家族なのです。支援の要としては、その言うに言われぬ心情を汲みとりながら、そこに真摯に寄り添うことだと思います。

2回にわたって発達障害の解説をしました。多くのかたに身近な問題として感じていただければと思います。

お知らせ

農業委員会委員
選挙人名簿登録申請書を
提出してください

農業委員会委員選挙人名簿の調製のため、農地基本台帳に登載されているかたに申請書を郵送しますので、1月9日(金)までに提出してください。

※農業委員会委員選挙人名簿に登載されていないと選挙権の行使はできません。

・該当要件 市内居住の満20歳以上で、次の①②のいずれかに該当する者

①10アール以上の農地につき耕作の業務を営む者

②①の耕作の業務を営む者の同居(住所および生計を共にしていること)の親族またはその配偶者で年間おむね60日以上耕作に従事する者

・提出方法 ①返信用封筒で郵送 ②農業委員会事務局または各総合支所産業振興課へ直接提出 ③自治会長へ提出(封入提出)

◎問い合わせ先 選挙管理委員会事務局 ☎(42)1143、農業委員会事務局 ☎(64)0929、各総合支所産業振興課

「コア・よか」
年末年始の営業について

市民サービスセンター「コア・よか」は、12月29日(月)から1月3日(土)までの間は休業となります。

●パスポート窓口

・申請受付 12月26日(金)まで【年始】1月5日(月)から

・取扱時間 午前10時～午後4時30分

●納税・証明など

・申請受付 12月28日(日)まで【年始】1月4日(日)から

・取扱時間 午前10時～午後7時

◎問い合わせ先 市民サービスセンター ☎(46)1337

新春市民のついで

新年のスタートを共に祝い、初日をよう拝みましょう。
・日時 1月1日(元旦) 午前6時55分～7時40分(雨天中止)

前6時55分～7時40分(雨天中止)

・場所 城山公園(国分)

・内容 太鼓演奏、小中学生による一言リレー発表ほか

◎問い合わせ先 総務課市民運動推進室 ☎(64)0915

製造事業所の皆さまへ
統計調査にご協力を

平成20年工業統計調査が12月31日現在で実施されます。調査にあたって12月中旬から調査票をお届けします。

「工業統計調査のお願い」をご覧ください。

なお、調査員は「調査員証」を携行していますので、安心してご協力をお願いします。

◎問い合わせ先 情報政策課 統計グループ ☎(64)0933

下水道課からのお知らせ

下水道処理区域内で、土地の売買、相続などにより受益者となるかたに変更があった場合は、双方協議の上、すぐに「受益者変更届出書」の提出をお願いします。

これにより申請のあった日以降の負担金は新しい受益者が負担することになります。

受益者負担金は1回限りの賦課のため、期途中での受益者の変更届けが必要となります。

土地所有権に変更があった場合には、必ず届け出をお願いします。

◎問い合わせ先 下水道課 ☎(46)7778

始良地区学校給食展

日時 1月10日(土)・11日(日) 午前10時～午後6時

※11日は午後5時まで

場所 隼人国分サティ2階 サティホール

内容 各学校の給食の展示、「食」について楽しく学べる劇、料理教室、試食コーナーなど

◎問い合わせ先 隼人小学校給食センター ☎(42)0528

逆鋒太鼓ジュニアの皆さんは、「地域の活動をより推進していこう」という決意を新たに活動しています。

◎問い合わせ先 企画政策課 ☎(64)0914

霧島市商工会
「新春講演会」&
「新春賀詞懇談会」

日時 1月6日(火) 講演会 午後4時から【懇談会】午後6時から

場所 かもしま空港ホテル

講師 森永卓郎氏(経済アナリスト・獨協大学教授)

会費 5000円(前売り) ※チケットは商工会本所、支所で取り扱っています。講演会は無料

◎問い合わせ先 霧島市商工会 ☎(42)0528

宝くじ助成金
「コミュニティ助成事業」

「逆鋒太鼓ジュニア(霧島)」は(財)自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業(宝くじ助成金)を活用し、和太鼓を整備しました。

「コミュニティ助成事業」

1月22日(木)～23日(金) 時間 午前9時30分～午後3時30分

会場 メディアセンター

定員 各20人(市民対象)

受講料 各1000円

※両コースの同時申込不可

申込方法 往復はがきにコース番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し郵送してください。(往信面の右側には何も記入しない)

申込締切 1月8日(木)必着

受講決定 しがきで通知(定員超過の場合は抽選)

申込・問い合わせ先 19、〒899-4394 国分中央三丁目45-1

働く婦人の家「親子講座」

オリジナルカレンダーづくりを楽しんでみませんか。
日時 12月25日(木) 午後1時30分～3時30分



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

会総務課 ☎(42)2128

地方行革セミナー
in 鹿児島

日時 1月10日(土) 午後1時30分～4時45分

場所 県庁講堂

定員 400人(申込順) ※参加無料。詳細は問い合わせください。チラシは共生協働推進課 ☎(64)0988

申込・問い合わせ先 地方行革セミナー事務局 ☎03(5568)1016

募集

「出張！なんでも鑑定団in霧島市」のお宝を募集します

市制3周年と西郷隆盛像建立20周年を記念して開催します。あなたのお宝を鑑定してもらいませんか。時代、ジャンルは問いません。

応募方法 市役所国分庁舎(総合案内)、隼人庁舎地域振興課、各総合支所地域振興課にある申込書に写真【全体像、主要な部分(絵

柄や文字など)のアップ、銘や落款など)を3枚以上添付して郵送またはご持参ください。(一人何点でも応募可) 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

※申込書類・写真は返却しませんのでご了承ください。

※収録予定日に出場可能なかたに限りです。古物売買免許のあるかたはご遠慮いただきます。

応募締切 1月30日(金)(必着)

選考方法 テレビ東京の番組スタッフが選考します。

収録予定日 3月22日(日) 収録場所 溝辺公民館(みそめ館)

申込・問い合わせ先 溝辺総合支所地域振興課内「なんでも鑑定団実行委員会」事務局 ☎(59)3111、〒899-16493 溝辺町有川341

霧島市第5期高齢者福祉計画等(案)への
ご意見を募集します

市では平成21年度から23年

度までの高齢者福祉および介護保険事業の基本指針となる「霧島市第5期高齢者福祉計画」および第4期介護保険事業計画」を策定中です。これに対するご意見を募集し、計画策定の参考とさせていただきます。なお、意見に対する個別の回答はしません。

公表(受付) 期間 12月16日(火)～1月15日(木) 必着

公表方法 市ホームページ、情報公開室、高齢・障害福祉課、隼人庁舎隼人福祉課、各総合支所市民福祉課、牧之原支所、コア・よか

提出方法 閲覧場所にある用紙に記入し、郵送、ファックス、メールまたはご意見投書箱にて提出してください。

提出・問い合わせ先 高齢・障害福祉課高齢者福祉グループ・介護保険グループ ☎(64)0995、FAX(45)1900、メール kou-shou@city-krishima.jp

パソコン講座

403 / エクセル講座入門

1月20日(火)～21日(水) コース

働く婦人の家「親子講座」

オリジナルカレンダーづくりを楽しんでみませんか。
日時 12月25日(木) 午後1時30分～3時30分

場所 働く婦人の家

対象者 市内在住の小学生

404 / エクセル講座

1月22日(木)～23日(金) 時間 午前9時30分～午後3時30分

会場 メディアセンター

定員 各20人(市民対象)

受講料 各1000円

※両コースの同時申込不可

申込方法 往復はがきにコース番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し郵送してください。(往信面の右側には何も記入しない)

申込締切 1月8日(木)必着

受講決定 しがきで通知(定員超過の場合は抽選)

申込・問い合わせ先 19、〒899-4394 国分中央三丁目45-1

働く婦人の家「親子講座」

オリジナルカレンダーづくりを楽しんでみませんか。
日時 12月25日(木) 午後1時30分～3時30分

サン・あもり自主講座

太極拳講座 (1月～3月・全10回)

日時 毎週金曜日、午後2時～4時

受講料 4000円

申込・問い合わせ先 サン・あもり ☎(43)3373

お詫びと訂正

広報11月お知らせ版11ページ「おくやみ」欄に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

立和田實さん(77) 磯新堀 【誤】隼人町 【正】福山町

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____ - _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの身近な事、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださったかたの中からカット割引券を10人のかたにプレゼント。応募締め切りは12月22日(月)当日有効です。当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

霧島市役所 広報広聴課 行

(No.68/2008.12)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



コウテイダリア(キク科)

Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



Community

8月に、喜寿を迎えた主人の父を囲み、家族で指宿まで喜寿祝いの旅行に行きました。76歳の父は曾於市末吉町で趣味の竹細工や家庭菜園に励み、県内各地を夫婦でドライブや散策を楽しむなど、私たち夫婦が理想とする人生のお師匠さんです。父が作った竹細工のピックニックかごに、母の作った梅干やニガウリの佃煮を入れたおにぎり

の弁当を入れて、1歳の娘とピックニックに出かけるたびに両親の存在に感謝しています。お金では買えない、目には見えない大切なことを両親と接するたびに感じて吸収させて

もらっています。私も手づくりや伝統を引き継いで生きていきたいです。お父さんお母さんこれからもお元気で。(1歳いちこのママ31歳女性)

すてきなご両親ですね、お互いに尊敬できる、そして健康、何よりも幸せなことですね。

家にいととなかなか世間での動きにうとくながり情報収集をしている1児の新米ママです。とこで、育児休暇って本当にいい制度ですね。最近

らっしゃるみたいですし。でも、実際子どもを産んで不便を感じたことが一つあります。それは、おばあちゃんには育児休暇がないということです。産後すぐには家事もろくにできませんから、ほとんどの

が自分のお母さん、つまりおばあちゃんにいろいろと面倒を見てもらいますよね。お

まだ現役でバリバリ働いているかたがほとんどでしょうか、せめて軽い家事ができるような制度があればいいのにと感じます。こんな制度があればすてきだと思いませんか。

ホールの隅々まで響き渡る透き通った声、いつまでも聴いていなくなる心に残るコンサートでしたね。

休日にデパートへ出かけ

たときのことです。たぐさんの親子連れの中に、おでこの冷却シートを貼った小さなお子さんを見かけました。シートを貼っている姿から体調がいいように見受けられます。子どもは高熱でもはしゃぎまわることがありますが、だからといって病気の子どもを外に連れ出すのはいかがなものでしょうか。デパートには赤ちゃんや妊婦さん、高齢者など抵抗力の弱いかたもたくさんいらっしゃいます。親が外出をあきらめるか、どうしても急用ならば託児所や家族に預けるべきではないでしょうか。朝晩が冷え込み、インフルエンザなどの感染症が流行する季節です。体調を崩しているお子さんは家でゆっくり休ませてあげてください。(さつまいもR22歳女性)

(ゆいちょのはは31歳女性) 祖父母が育児休暇、それぞれの生活スタイルにあった制度もあればありがたいですね。

東京の大学、海外留学、

いろいろな経験を積んで娘が帰省してきました。「やっぱ霧島はいいところだね、この自然に身も心もいやされるよね」の一言。「田舎だから」という親の気持ちは、都会で暮らした娘にとっては意外な気持ちのようですね。すてきなこの天地にあらためて感謝しました。(3人娘の母49歳女性)

飛行機で桜島を眼下に旋回、そして霧島連山を眺めながら着陸していくとき、本当に霧島市民で良かったと感じます。

うちの子ども(幼児二人)

は本が大好き。霧島市になって国分図書館も利用できるようになりました。楽しみが増えました。それは、シビックセンターの毎月テーマごと変わる展示物、2週間に一度、

治療の帰りだったのでしょうか。風邪は万病のもととも言われます。周りの人への気遣いも大切ですね。

こ数年、マイバックか

マイかごを持って買い物をしていきます。店舗ごとでもちよりのスタンプカードをもらったりしています。財布の中は何枚ものカードが入って、かさばったり、レジの精算のときに手間取ったりします。市内のどの店でも使えるスタンプカードができるといいなと思います。交換が一番スタンプの数の多いところでもらえるとかどうでしょうか。市と企業が手をつないでレジ袋削減のエコ活動をしてもらえるとありがたいです。(香ジャスミン51歳女性)

最近ではエコ活動に関するお便りをたくさんいただいています。共通のエコカードはよいアイデアですね。

私たち家族は今年の3月に鹿児島市から霧島市

子どもと一緒に芸術鑑賞までできるようになりうれしく思っています。余談ですが、月に一回の「はやとすずかけ号」近くまで来てくれる移動図書館も楽しみのひとつです。(図書館最子1♥39歳女性)

霧島市制3周年おめでと

うございました。子どもが霧島高校に通学している縁で、3周年記念式典に出席させていただきました。とてもうれしいことに、入学式に続いて今年2度目となる辛島美登里さんのとてもすてきな歌声が聴けて、とっても元気が出ました。子どもの学校は来年やつと1歳になります。辛島さんはデビュー20周年のことでした。2度あることは3度ある。また近いうちにすてきな歌声をどこかで聴けるような気がします。歌は人の心に優しく沁みこんで勇気を与えてくれます。(由美子46歳女性)

に移住しました。ここに来て思うことは、子ども連れのトイレが不便だということです。親子で入れるトイレはまだ少ないと思います。外トイレも多いような気がするし、和式のみも多いですね。結構親子連れのかたは不便なような気がするのですが皆さんどうされているのでしょうか。もちろん中にはきちんとされているお店などもあります。それぞれのお店、施設のトイレ改善をひそかに望みます。(ぼん32歳女性)

小さなお子さんを外で待たせてのトイレはお母さんも心配ですね。防犯上も必要なことを多くのかたに知ってもらいたいものです。

今月は家族への想いや、あ

いさつのお便りがありました。文章は文字数調整のため添削させていただく場合があります。 ※ハガキには住所・氏名・年齢・ペンネームなどを必ずお書きください。

今でも忘れられない光景があります。それは大阪からこの霧島に旅行に来て、母と二人、ホテルで朝食をとっていたときのことです。夏とは思えないサラッとした涼しき、時が止まったかのような静けさ。ゆったり感、庭の芝生がキラキラと輝いて、それまで経験したことのない心地よさでした。大阪へ帰ってからもその朝のひとときが忘れられず、霧島へのあこがれは募るばかり。

それから6年、家族でよく相談して、霧島の別荘地に移住することにしました。父は菱刈町（現伊佐市）出身で、母は大阪生まれですが祖父父母が国分だったこともあり、鹿兒島にはお墓もありました。当時、大阪で父が経営する設計事務所には兄たちは建築士として働き、母と私は経理を手伝い、家族全員、毎日忙しく仕事をしていた最中で、周囲の人たちから思い切った選択だと驚かれました。

大阪にいたころは都会の中

でも都会、デパートまで歩いていくような便利な場所に住み、自然とのふれあいは、ほとんどない日常でしたので、こちらに来てからは美しい

こころがホッとあたたかくなるおはなし



「霧島とメルヘン」

◎大川内 梨恵

山々に囲まれ、私にとっては夢のような毎日でした。ところが、数年前からは地球温暖化の影響でしょうか、初めの頃に比べ気候があれよ

あれよと悪くなり、風が強く雨は多く、台風が直撃し、家が飛ばされなかつたかと思われ、やることも起き、自然の厳しさも体験しました。

一方、私たち兄弟妹は、トリオズという名で、大阪で少しずつ始めていた絵本作りに取り組みました。もともと作家志望だった二男が文章を、画家志望だった長男と私がキャラクターづくりと彩色を担当し、この霧島の自然の中で感じた有機的な雰囲気創作に生かして、一つの形にまとめたのが自費出版の絵本「ポッテじいさん パドルトじいさん」です。また最近では高千穂峰や桜島もはつきりと絵の中に描き、メルヘン画を制作しています。

最近その作品を個展で発表させていただきました。その折、こちらで芸術、文化的なことに携わっていらっしゃるかたが多いことを知り、大変うれしく思いました。

霧島に移り住んで早14年、自然がいつも穏やかであるこ



Profile

おおかわうち りえ (45)
大阪生まれ。大阪府羽衣学園短期大学卒業後、父の経営する建築設計事務所の経理を手伝いながら、日展の熊谷明子氏に師事し、油絵を描く。平成6年に家族と共に霧島田口に移住。現在二人の兄と「トリオズ」の名で、絵本、童話、メルヘン画、キャラクターなどの制作をしている。
URL <http://www.synapse.ne.jp/torios/>

とを願いつつ、自然のありがたさ、厳しさのどちらも自分の体験として、今後の創作に反映させていければと考えています。

「...兄弟妹三人での絵本作り。朝夕、さまざまに色を変えられる山々。澄んだ水をたたえるせせらぎ、散歩に出ると必ず出会う小鳥たち。はじめて知った自然の中に漂う不思議なあなたかさをこの絵本から感じてもらえたら。」絵本の後付より（トリオズ 孝之・聖二・梨恵）

霧島市携帯サイト



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧ください。パソコンをお持ちでないかたも、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

◎人口 / 128,225人(+69)
男性 / 61,895人(+38)
女性 / 66,330人(+31)
出生 128人 / 死亡 99人
転入 391人 / 転出 353人

◎世帯数 / 57,057世帯(+14)
(平成20年11月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

12 PRESENTS

お便りをくださったかたの中から 県理容生活衛生同業組合 霧島支部のカット割引券を プレゼントします

霧島支部理容組合では、お客さまへ安心・安全で確かな技術を提供するため、講習会・勉強会に積極的に取り組んでいます。今後とも組合加盟店では親切・丁寧な技術・サービスを提供していきますので、お客さまの身近なヘアアドバイザーとして組合加盟店をどうぞご利用ください。また、加盟店も併せて募集しています。



◎問い合わせ先=霧島支部理容組合
☎ (45) 1479
<http://www.riyo-k.com/kirishima/>

※読者プレゼントを提供して下さるかたを募集しています。広報広聴課広報グループ ☎ (64) 0955 までご連絡ください。



◎今月の表紙

11月27日 午前8時58分
牧園町高千穂(丸尾/霧島温泉市場)

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ28～135mm 3.5～5.6
1/30s F5.6 ISO400

温泉とともに湯煙も豊富な丸尾地区。その一角にある蒸気で蒸した温泉まんじゅうと温泉卵が人気を呼んでいます。中でも地元ヨモギと紫イモを使った温泉まんじゅうは、わざわざ遠方から求めに來られるかたも多く、売り切れ時には苦情を聞くことも。(今回は卵と一緒に撮影。湯とおまんじゅう、ほかほか気分になりそうです。)

いよいよ師走、忘年会も多くなる季節。今日は校了日といって広報誌の原稿を印刷屋さんに渡す最後の日。私は忘年会。なので早めに原稿書きを終わらせ余裕でいたとき「(た)さん、原稿の行数が足りないですよ」と言われ、それからバタバタ。やっぱり師走は忙しい(た)

霧島ぐるり1巡鉄道」夢は現実に。編集締切の朝、日豊、肥薩、吉都線をつなぐ鉄道の旅がすでに2年前から企画されているとの新聞記事を目にした。今月の特集は、鉄道をモチーフにしたデザイン。霧島本線は霧島連山を巡る仮想の霧島環状線、定期路線も夢ではない(ふ)

鍋 物や温泉などあったかいものが恋しくなる季節。そんな季節にもぴったりなショウガ。お寿司に添えてあるガリや薬味としてでしか馴染みがなかったが、ショウガ入りのおにぎりや紅茶のおいしさは意外だった。体もぽかぽかして温まりました。ぜひ試してみてください(あ)

今年もいよいよ1か月を切りました。1年を振り返ると市民の皆さんのご協力には、感謝の言葉しかありません。取材依頼をすると最初は厳しい顔を見せても、最後は笑顔で撮影に応じてくれる。広報誌は皆さんの協力が不可欠です。来年も最高の笑顔を見せてください(み)

市長コラム 前田 終止

現場主義を貫く

霧島市が誕生して3年、初代市長としての誇りを糧に、さまざまな課題に取り組んできた。歴史も文化も異なるまちが、新たな時代を迎えるために、決断の日々が続いた。断腸の思いで決断したことも少なくない。市民の皆さんには痛みを感じさせたこともあるだろう。しかし、それはすべてが将来を見据えてのことであることに間違いはない。障害に悩むかた、そしてその家族の声、子育ての苦労に耳を傾ける。高齢者のかたがたと語り合う。災害現場の視察、交通防犯の実態、国内外の交流地の視察など、肌で感じ、五感を研ぎ澄まし、さまざまな角度から物事を見通すことで、13万人市民の生活を預かる身として、今すべきことを適時的に決断し、計画実行に移してきた。

机上論を語るのは好きではない。まずは現場である。市政を預かる者が、現場を見ずして責任ある決断を下すことはできないと思っ

ている。愛する霧島市が笑顔あふれるまちとなるよう、これからも我が身を張って事を成していきたい。